



教員（桜美林大学）公募のお知らせ

桜美林大学では、下記の要領で環境科学（理系）分野の教員を募集いたします。

記

1. 採用人員：コア教育センター環境科学（理系）分野教授1名
2. 公募の趣旨：本センターでは、文系学生に対するGeneral Artsとしての環境科学の授業をおこなう教員を求めています。担当予定科目は、気象と環境、地球規模環境論、地球科学と宇宙科学、環境科学演習です。
応募資格は、(1) 本学の建学の精神に理解のある方 (2) 博士の学位を有すること (3) 大学での教育経験を有すること (4) 環境科学に熱意と実践力を有すること (5) 文系大学生の教育指導に十分な能力を有することです。
3. 提出書類：
 - (1) 履歴書（写真貼付）
 - (2) 研究業績リスト（審査付原著論文、国際会議論

- 文、著書、総説、招待講演、特許、その他に分類)
- (3) 主要論文別刷又はコピー（5編）
 - (4) 研究業績概要（2000字程度）
 - (5) 教育経験の概要説明書（2000字程度）
 - (6) 着任後の教育・研究・学生指導に関する抱負説明書（2000字程度）
 - (7) その他特記事項（教育、研究、社会活動等）

* 応募書類は原則として返却いたしません。

4. 公募期限：平成16年8月31日（当日消印可）
5. 提出書類送付先：

〒194-0294 東京都町田市常盤町 桜美林大学学部長室気付 環境科学教授採用担当者 宛「コア教育センター教授応募書類」と朱記し、郵送のこと。
6. 問い合わせ先：

桜美林大学コア教育センター長 土屋 晋
E-mail: tsuchiya@obirin.ac.jp

公募のお知らせは、桜美林大学のホームページでもごらんになれます。

編集後記：私は本誌に掲載の「日々の天気図」を担当している。天気図と日記を重ねた形式の資料は、2002年1月分までは日本気象協会が作成し、「天気図日記」という名で協会の月刊誌「気象」に掲載していた。「気象」の廃刊に伴い、2002年2月分からは予報課が作成し、「日々の天気図」として本誌に掲載することとなった。

「日々の天気図」は、予報課で解析したアジア太平洋地上天気図（通称ASAS）がもととなる。ASASは解析時刻までの実況経過を参考しつつ、解析時刻の観測データをもとにして作成する。しかし、低気圧の中心位置や中心示度等の解析は、低気圧が急速に発達するような場合には特に難しく、低気圧の発達が終わった後、時間をさかのぼりながら解析し直すことに

よって、より精度の高い結果を得ることができる。このようなことは前線、特に梅雨期の前線にも当てはまる。予報課ではすべてのASASに対して翌日以降に再度解析の見なおしを行い、必要に応じて天気図の修正を行っている。修正を済ませた天気図から日本付近の領域を切り出したものが「日々の天気図」となる。余談だが、修正を済ませた天気図は、一定期間気象庁内で保管した後、国立公文書館に移管して永年保存となる。国立公文書館には1923年9月以降の天気図が保存されている。

一方、「日々の天気図」の日記は天気相談所が作成する。日記には、日本付近の気圧系の動きや、全国の天気経過・光学現象等の珍しい現象・桜の開花等の季節現象・記録的な現象などを記述することとしている。

時として、“太陽系で最も外側の新天体を発見”(2004年3月15日)等、気象以外についても記述している。これらを80文字以内に集約する。日本全国の気象現象等を80文字以内に凝縮し、1日の経過・特徴を端的に示すのは難しい。

今月号に掲載の「日々の天気図」では、27日の日記が議論となった。この日は発達中の低気圧により東・西日本で大荒れの天気となった。高知県土佐山田町では4月の記録を更新する1時間に69mmの非常に激しい雨が降り、室戸岬では40m/sを超える最大瞬間風速を観測した。また、鹿児島県や高知県、静岡県では日雨量が200mmを超えた。当日担当の予報官は、“極値を更新する現象”を重視し、雨に関しては土佐山田町の短時間強雨を日記の原案とした。原稿チェックの過程では日雨量を採用すべきとの意見もあったが、日雨量200mmは季節的に珍しい現象でないため、最終的には原案どおりの日記となった。

一方、同じような気圧配置・天気分布が続く場合も日記の作成は難しい。数日間高気圧に覆われ、晴れの日が続くと、2日目以降の当番者は“ネタ”を探すのに苦労する。このような場合は、気象以外の社会的な

話題にも目を向けることになる。

このように、「日々の天気図」の天気図と日記は予報課内の異なる部署が作成している。このため、両者が作成する原稿の調整を行い、最終的な編集作業を行うのが私の仕事である。見開きページ左上に掲載される顕著現象に関する簡条書きの文章も作成している。

日本付近でみると、冬には冬型の気圧配置、春や秋には移動性の高・低気圧など、それぞれの季節で出現しやすい気圧配置があり、同じ季節の中では似たような天気図・天気分布が多く現れる。しかし、似ているように見えて、それぞれの天気図・天気分布は少しずつ異なり、個性がある。ASASは6時間おきに毎日4枚作成される。私は職務上これらのすべての天気図を見て、内容を検討する機会に恵まれている。私は子供と遊ぶのが好きで、子供の個性を見分けるのは長けた方だと自負しているが、現在の職務を1年間担当し、天気図・天気分布の個性についても、いくらかは見分けられるようになった。

「日々の天気図」を読んだ方に、少しでもその日の“個性”が伝われば幸いである。

(杵淵健一)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)
 編集委員 神沢 博(理事)・古川武彦(理事)
 藤部文昭(理事)
 青柳曉典・石田純一・大淵 濟
 勝山健一・金田昌樹・上口賢治
 川島正行・木村陽一・杵淵健一
 小出 寛・小林健二・桜井敏之
 佐藤晋介・小司禎教・住 明正
 関山 剛・高橋 宙・田口晶彦
 寺坂義幸・中西幹郎・中村 尚
 新村典子・別所康太郎・水野 量
 望月隆史・山本 哲

地区編集委員 北海道 清水為一・渡部雅浩
 東北 藤田由紀夫・岡本 創
 関東 田代誠司・河野耕平
 中部 永尾一平・岡田 京
 関西 山本二郎・山中大学
 九州 磯部英彦・中島健介
 沖縄 宮良武男
 編集書記 遠藤和子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体(図書館も含む)は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
 学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619

E-mail : naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp